4 子育て支援

地域子ども・子育て支援事業として、安心・安全な子育てが出来る環境を整備するために、野上放課後児童クラブの野上小学校への移転や病児・病後児保育事業の大分県内での広域利用を実施します。

子育て世帯の経済的負担軽減のため、おおいた子育てほっとクーポンの対象サービスにおむつとミルクの購入を追加します。

➡おおいた子育てほっとクーポン（11ページ）

教育・保育の提供ではこども園において、一人ひとりの子どもや保護者に寄り添った質の高い教育・保育の提供に努めます。また、自律推進計画に基づき、こども園の民営化について調査・研究、関係団体との協議を行っていきます。

児童虐待の予防、早期発見、早期対応するため、定期的に「九重町要保護児童対策地域協議会実務者会議」を開催し、情報の収集・共有を図り、児童等の命を守る取組を構築します。

子育て世代包括支援センター設置に向け、関係機関と連携して取り組み、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を構築します。

みつばこども園での節分の豆まき

●こども医療費助成事業	2,000万円
●放課後児童クラブ事業	2,879万円
●子宝手当	1,242万円

5 健康・福祉

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が今年度から本格的に始まります。ワクチンの接種は「努力義務」で、最終的には個人が接種の判断をすることとなっています。国は有効性・安全性・副反応のリスク等の注意事項について情報提供を行うこととしています。町としてもわかりやすい情報提供に努め、接種を希望される人が国の示す優先順位により円滑に接種が受けられるよう医師会等と連携し取り組みます。

➡九重町新型コロナワクチンコールセンター（12ページ）

今年度は第8期介護保険事業計画の初年度です。サービスの基盤の充実とともに、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、支援の整備を進めます。

➡第８期介護保険料率変更（21ページ）

社会福祉協議会等と協働し、住民型生活支援団体の立ち上げや交流の場づくり支援に取り組む一方、支え合いリーダーの養成や活動支援を行い、「地域を元気にする福祉」を推進します。

地域福祉計画（令和４年度～令和８年度）は福祉分野における上位計画として位置づけられるものです。関連計画との整合性を図りながら、福祉分野の総合的な計画として策定をします。

東飯田に、大分県社会福祉事業団によるグループホームの２棟目が設立されました。農福連携による就労継続支援事業も始まる予定です。障がい者が住み慣れた地域で生活できるよう、就労や地域交流の支援を引き続き進めます。

●新型コロナウイルス予防事業	7,562万円
●多世代交流支え合い推進事業	200万円